

SEIGAIHA

NIIGATA SANGYO UNIVERSITY

新潟産業大学報 青海波 (せいがいは)

2010
Vol.20

特集 生き生き学ぶ社会人 1

CAMPUS TOPICS 3

クラブ・サークル活動 5

図書館だより 6

キャリアサポート 7

BACK TO SCHOOL (生涯学習センターから) 9

INFORMATION 10



「つらなり」(写真の説明は裏表紙)

対象者	学費負担者および家計を一にする家族(以下「学費負担者等」)の経済的理由により、修学が困難な学生。
申請要件 (年間所得の上限)	自宅通学者：300万円程度以下 自宅外通学者：350万円程度以下
軽減額	年間授業料(660,000円)の半額を免除(軽減期間は1年間)。 ※2年次以降は、審査により更新可。

修学支援制度に関するお問合せ先：新潟産業大学入試課
0120-787-124

新たな修学支援制度を設けます。
新潟産業大学は平成23年度より、経済的事情により修学が困難な学生に対し、授業料の半額を免除する制度を設けます。先行きの見えない不況下、勉強意欲がありながら、やむを得ず大学進学をあきらめるケースや、入学後にも保護者の失業等で学業の継続について常に不安を持ち、修学に専念できない等のケースが、全国の大学で報告されています。
本学では独自の支援制度を実施することにより大学進学や学業継続にかかる家計負担を軽減し、本学で修学する意欲を持つ学生をサポートします。この制度は平成23年度以降入学者および在学学生を対象とし、申請者の中からの選考で決定します。

平成23年度入試日程概要(各学科共通)

入試区分	一般前期日程(2科目方式) (学科間併願可) (特待制度対応試験を兼ねる)	センター利用 前期日程 (学科間併願可)	帰国生 (学科間併願不可)	編入学試験(第2期) (推薦・一般)	一般後期日程 (2科目方式) (学科間併願可)	センター利用 後期日程 (学科間併願可)
出願期間	H23.1/11(火)~2/1(火)	H23.1/11(火)~2/3(木)	H23.1/11(火)~2/3(木)	H23.1/11(火)~2/1(火)	H23.2/16(水)~3/8(火)	H23.2/16(水)~3/18(金)
試験日	H23.2/6(日)			H23.2/6(日)	H23.3/13(日)	
合格発表		H23.2/15(火)			H23.3/16(水)	H23.3/24(木)
試験会場	柏崎・新潟・長野・酒田・郡山			柏崎	柏崎・新潟	

入試の詳細・大学院経済学研究科の入試については、2011入試試験要項でご確認ください。

表紙の写真

「つらなり」

撮影者 田村 健
経済学部 経済経営学科3年
新潟産業大学 写真部部長



ざおん柏崎まつりの2日目(平成22年7月25日)に行われた「たる仁和賀」にて撮影。被写体は、「神楽人」という団体の踊りです。踊り手は全て「新潟産業大学 伝統芸能文化部」の学生です。被写体が常に動いているので、追いかけて撮影するのは大変でした。また、夜だったので、ぶれないように高感度撮影しています。このショットは二人一組の重なる間隔が「きれいな一対」になる、ちょうどいいバランスを狙うために前後20枚ほど撮影した中の一枚です。今回は、練習から本番まで神楽人を密着取材して約2,500枚撮影しました。

学事日程(平成23年1月~6月)

平成22年度			平成23年度(予定)		
月	日	行事等	月	日	行事等
1月	11日(火)	授業開始	4月	5日(火)	入学式
	14日(金)	センター入試前日準備日 休講日		11日(月)	春学期授業開始
	24日(月) ~25日(火)	補講日		6日(水) ~8日(金)	ガイダンス・健康診断
	26日(水)~	秋学期末試験期間 (~2/1)		7日(木) ~8日(金)	新入生学外合宿研修
2月	2日(水)	春季休業開始	5月		
	21日(月)	卒業生発表・進級発表			
3月	1日(火) ~10日(木)	春季公務員特別講座	6月	2日(木)	創立記念日(通常授業)
	12日(土)	卒業式			

編集後記

今年度から、これまで就職委員会が発行してきた「就職だより」、生涯学習センターが発行してきた「Back To School」、そして以前附属図書館が発行していた「LEGIMUS(レギムス)」を休刊し、新たにこの青海波に統合して読者の皆様にお届けすることになりました。

本学のコンパクトユニバーシティ構想に掲げる「専門分野の濃縮化」に歩調を合わせる形となりますが、これまで各誌の担当者が苦心し、工夫を凝らしていた幾多のコンテンツを、新しいフォーマットの上でどれだけ表現できるかについては、これまで以上に「情報の取捨選択の目利き」が重要であると思っています。

「伝えたい情報」と「知りたい情報」のバランス配分、異なる読者層への配慮等課題は多いのですが、皆さまに広く読んでいただける紙面づくりを心掛けて行きたいと考えていますので、お気づきの点やご意見、貴重な情報等がございましたら、media@ada.nsu.ac.jp までお寄せくださいますようお願い申し上げます。

なお、平成23年度から、青海波は年2回の発行となります。次回の発行は平成23年6月の予定です。

新潟産業大学 メディア・広報・企画課



青海波(せいがいは)

雅楽の舞人の装束に用いられた波形文様で、同心円状の波を前後左右交互に重ねた幾何学的な文様。この文様の由来は遠くシルクロードまで遡るとされており、これを本学の校章(3つの波)に重ね合わせ、地域を知り世界を知ることの象徴として、本学の情報発信媒体である学報の名称に採用しました。

- 発行日/平成22年12月15日
- 編集・発行/新潟産業大学広報委員会

新潟県柏崎市軽井川4730番地 TEL 0257-24-6655 FAX 0257-22-1300

生き生き学ぶ社会人

新潟産業大学では、社会人AO入試により、職業や家事に従事すると、退職されたひとに、広く門戸を開き、学びの場を提供しています。今、実際に授業を受けている「学生」のみなさんの声をお届けします。

平成20年に1人、21年に7人、22年に3人の社会人が入学しました。

そのなかで、つぎの5人の方々に現在の学生生活について聞いてみました。

平成21年度入学

- 桑原 正敏さん
- 斉藤 雪江さん
- 田中 洋子さん
- 中村 まち子さん
- 平成22年度入学
矢島 潮子さん

Q. 入学のきっかけ、動機を教えてください。

- 韓国語を学びたくて。(桑原)
- 退職後、他の人とはひと味違う第二の人生を送りたいと思って。(斉藤)

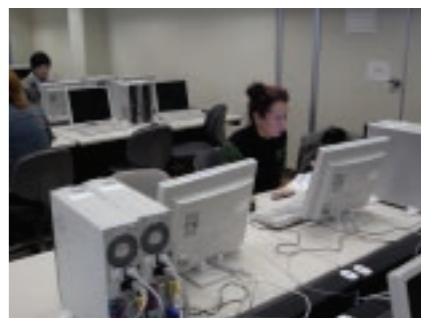


ゼミナール形式の授業も

Q. 入学してから、産大のイメージは変わりましたか？

■入学前から「身近」に感じていた

- 社会人学生の新聞記事を見た時に産大を紹介されて。(田中)
- 以前から大学で学ぶことに関心があったので。(中村)
- 緊張感のある生活を望んでいたし、友人に誘われて。(矢島)



コンピュータの課題にも挑戦

Q. 講義を受けた感想は？

- 教員の個性が様々あって面白い。(中村)
- 少しペースが速いが、ついていけるよう頑張っている。これからとりたい授業も多い。(矢島)
- 知らないことを知る楽しさを味わっている。(田中)

Q. 生活のパターンは変わりましたか？

■働いていた時とは種類の違う、緊

「働きながら 学びたい…」 そんな気持ちも 大切にします

長期履修学生制度は、職業や家事に従事しながら学びたいと願う方々が自分のライフスタイルに合わせ、無理なく長期の履修計画を立てることができる制度です。

また学納金も、4年分(編入学の場合は2年分)の総額を最長8年まで延長して分割納入することが可能なので、経済的な負担も軽減できます。

長期履修制度対応の入学試験

- ① 社会人AO(1年次入学)入試
平成23年4月1日現在満22歳以上であり、社会人(家事・育児・介護への従事等を含む)としての職務経験を1年以上有し、高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる者。
- ② 社会人AO(編入学)入試
平成23年4月1日現在満22歳以上であり、社会人(家事・育児・介護への従事等を含む)としての職務経験を1年以上有し、本学の定める出願資格を満たす者。

在学期間中の学納金総額

本学で定められた卒業に必要な単位数124単位を修得して、4年間で卒業する場合、在学時に左表の学納金を納めることになります。

長期履修学生制度は、申請時に認められた最長8年までの年限で、これを分割納入することが可能です。

この制度を利用すると学習時間の確保はもとより経済的な負担も軽減され、社会人としてのライフスタイルを崩すことなく学ぶことができます。

学納金区分	金額	備考
入学検定料	30,000円	入学試験時のみ
入学金	210,000円 (編入学は¥105,000)	入学手続き時のみ
授業料	2,604,000円 (卒業必要単位124単位の場合)	21,000円×登録単位数
施設設備資金	400,000円	100,000円×4年分
教育充実費	520,000円	130,000円×4年分
総額	3,764,000円	

四年間で卒業する場合の時間表例

	月	火	水	木	金
1					
2			プレゼミ	韓国事情	東洋の芸術
3			韓国語会話	教養ゼミ	文化芸術学
4			コミュニケーション演習		

長期履修制度を利用した場合の時間表例

	月	火	水	木	金
1		日本のファッション	広告入門		
2		日本の観光資源			パソコン実習
3					
4					

Q. 最後に、「学生生活」で困ったこと、良かったことを教えてください。

- 同期の社会人が少ないので少し不安だが、若い学生と会話できるのは良い。食堂などのメニュー、時間を改善してほしい。(矢島)



学芸員課程の講義で画像をみています

- 韓国語会話の上達を目指したい。(桑原)
- 大学ならではの授業に挑戦したい。(矢島)
- 韓国への研修旅行に参加し、その文化についてさらに深く知りたいと思う。(田中)
- 卒論を仕上げ、学芸員の資格も取って卒業し、ボランティアでも地域の文化施設の活動に協力したい。(斉藤)

シニア学生学費軽減制度

本学に入学する4月1日時点で、満60歳以上の方を対象とし、入学金および在学期間中の学納金(授業料・施設設備資金・教育充実費)を半額免除します。

柏崎市民・刈羽村民 シニア学生奨学制度

本学に入学する4月1日時点で、柏崎市民または刈羽村民で、満50歳以上の方を対象とし、入学金を全額免除し、在学期間中の学納金(授業料・施設設備資金・教育充実費)を半額免除します。



カフェでお茶のひととき

学長からのメッセージ

新潟産業大学は社会に出てからふたたび大学・大学院で学ぶ人を応援します。実社会で培われた確かな経験をもとに、入学後幅広い知識を得ることで、刻々と変わる社会のなかでも、実り多い生活を送ることが出来るでしょう。私たちは以下のように、学びやすい制度を整え、社会人のみなさまをお待ちしています。



学長 広川 俊男

広州アジア大会
水球競技銅メダル獲得！

昨年10月に経済学部に着任した青柳勤助手が主将を務める日本代表チームが、この度の第16回アジア競技大会水球競技において、銅メダルを獲得しました。

過去2期連続の銀メダルを経て今回30年ぶりの金メダルに期待がかかりました。準決勝で、優勝したカザフスタンに僅差で敗れたものの、3位決定戦で韓国を下して見事銅メダルとなりました。

今季から、戦いのフィールドを海外プロリーグから日本に移した青柳選手は、精力的に活動しています。

2010年FINA水球ワールド

リーグ男子日本代表の主将としてチームを引っ張り、その後社会人の水球クラブチーム「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎」を立ち上げて選手兼任監督に就任し、結成一年目で日本選手権を予選から勝ち上がって3位の好成績を収めました。

こうした選手活動と並行して、本学水球部の監督として指導を行い、10年ぶりに関東学生水球リーグ一部昇格に導きました。

青柳選手の活躍は多くのメディアに取り上げられるところとなりました。技術の向上はもちろん、競技環境の整備等に至るまで、自らの経験を日本水球界に還元し発展に貢献しようとする姿に注目が集



まっています。

そして臨んだ今回のアジア大会、本学でも出発前に壮行会を開き激励しました。

今回の銅メダルは、青柳選手と日本代表チームにとって、昭和59年以来となる28年ぶりのオリンピック出場に向けての第一歩です。

そして今後は本学の水球部員やOBがその一員に加わることも夢ではありません。

青柳選手と新潟産業大学の大きなチャレンジに、ご声援をよろしくお願いいたします。

「フォトコンテスト」で
本学学生が一席を受賞

写真カメラ雑誌「CAPA」9月号(2010年8月18日発売)の月例フォトコンテスト「スナップの部」で、本学写真部員の薩如拉(サルラ)さん(経済学部2年)が、見事一席を受賞しました。

今回この部門では約100名の応募の中から、1次、2次、3次予選を通過しての受賞です。

「中国では、カメラのオートモードで、ただ考えもせずに撮影していましたが、昨年、大学に入学し写真部に入学してから、先輩に写真技術

や撮影マナー、心構えを指導してもらい、口頭からカメラを持参して、面白い構図や場面を撮っています。この作品は、6月中旬に友人と柏崎市立博物館の坂で撮影しました。友人の笑顔を狙って撮影したので、すがすがしく(笑)、撮影後、構図からデフォルメ処理を行ったところ、これが思いがけずよい出来映えになったので、初めて雑誌に応募しました。まだ写真を始めたばかりなので、これからも頑張っ活動していきたいと思っています。」

(薩如拉さんのコメント)

薩如拉さんのさらなる活躍を期待します！



《受賞作品》「影絵」

第22回「紅葉祭」を
盛大に開催

10月9日(土)と10日(日)の二日間、本学キャンパスにおいて、恒例の学園祭「第22回紅葉祭」を開催しました。今年度は両日ともあいにくの雨模様でしたが、学内は、多くの来場者で賑わい、熱気に満ちた、楽しませてくれた学園祭でした。

今年のテーマは「Enjoy!! サンドREAM」。女装・男装コンテスト、「三叉路ライブ」、もう中学

生・エハラマサヒロなどの「お笑いライブ」の「三叉路」に加え、ゼミのポスターセッションや海外研修の展示、写真部や書道部の作品展示などの成果発表もあり、キャンパスは産大生のエネルギーに満ち溢れていました。

特に「バンド「三叉路」のリードボーカル松井正道さんは、本学の卒業生であり、凱旋公演となりました。演奏の中ほどは、司会の学生行事実行委員が松井さんの学生時代の思い出話を引き出すトークや、当時松井さんの歌唱指導をしてく

ださった恩師登場と即興のデュエットというサプライズな仕掛けに、会場は大いに盛り上がりました。後輩たちへの応援を込めた澄んだ歌声とギターの音色にしばし時を忘れたライブでした。

その他にも、モンゴル相撲大会、ふるさと自慢作文コンテスト表彰式、声優堀井真吾さんの文化講演会、国際スピーチコンテスト、本学教員出版講演会、地球くらぶ文化祭など様々なイベントが催されました。

開催にあたり早期から準備にと

柏崎市制施行70周年記念協賛事業
新潟産業大学講演会開催

12月2日(木)、本学講堂において講演会を開催しました。講師は、「財団法人地域創造」の林省吾理事長。講演のテーマ「地域における文化・芸術活動の行政効果」と内容は、設置2年目となる本学文化経済学部の教育目的と相通じるものでした。

講演は、造船業のアジアシフトによって、衰退した仏国ナント市が、文化を中心に据えた都市計画を実行し新たな雇用を創出しつつ再生した事例研究から始まり、文化は数ある行政分野の1分野ではなく、全

ての行政分野の土台となるもの、という情熱あふれる内容でした。

講堂には、学生教職員、共催・後援関係者の他、長岡市や新潟市から270人を超えました。



学生がぎおん柏崎まつりに参加
威勢よく神輿を担ぐ

7月25日(日)、ぎおん柏崎まつりの中日に行われる「たる仁和賀」に「産大みこし」を出し、学生28人、教職員14人が参加しました。

「学生生活の思い出に是非参加したい」という学生有志が声をあげ、2年ぶりの「産大みこし」見参となりました。

真夏の夜の神輿担ぎは若さと熱気にあふれるもので、初めてみこしを担ぐ学生も以前に産大みこしの経験のある学生も「セイヤッ!」「サー!」の掛け声を合わせて祭り

を楽しみました。

テレビCMでもお馴染みの全身白のコスチュームに身を包んだ「経済さん」も登場し、沿道の子どもたちの人気をさらい、写真撮影に引っぱりだこでした。

また、当日、別団体神楽人(かぐらびと)には、本学「伝統芸能文化部」の学生が参加し、お面をつけたまま2時間半踊り続けました。

翌7月26日(日)、ぎおん柏崎まつりのフィナーレを飾る名物「海の大花火大会」には、新潟産業大学と新潟工科大学共催で、ツインスターマインを打ち上げました。学生寮かしわざき荘の屋上では、学生、教職員、同窓生が日本海の夏の夜を彩る大



花火を満喫しました。



図書館だより

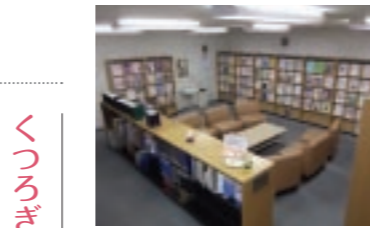


今回配架した雑誌名	ジャンル
SWEET	女性ファッション
Soup	女性ファッション
Chokichoki	男性ファッション
Komachi	タウン情報
オレンジページ	生活情報
Driver	車
旅の手帖	旅行
Number	スポーツ
日経Health	健康
SCREEN	映画

ファッション誌・情報誌の配架を始めました!

大学図書館は、文献や学術資料の収蔵だけを行っているものではありません。在学生や地域の皆さんに、出来るだけ身近に本学図書館を活用してもらえよう、今年度の新しい試みとして、学生からのアンケート結果をもとに左表の一般雑誌10冊の配架を始めました。

これにより、学内の新しい憩いの場として、以前よりも多くの学生が図書館を訪れるようになりました。これをきっかけとして、貸出や資料の参照等の積極的な図書館利用に繋げていきたいと考えています。



くつろぎコーナーを設置

雑誌の配架にあわせ、本をゆつたりと読んでもらうために、ソファを配置したくつろぎコーナーを設置しました。

授業の空き時間や放課後に、ゆつくり雑誌を読んでいる人、友達同士で仲良く雑誌を見ている人、学術雑誌を広げ目的の記事を探している人など、それぞれ色々な目的で自分の時間を自由に満喫している様子で、ときにはくつろぎ、ときには学習研究にと幅広く活用されるスペースになっています。

中学生が職場体験

中学生の地域貢献活動の一環として、柏崎市立東中学校と柏崎市立南中学校の生徒の皆さんが、本学図書館の業務を体験しました。

パソコンを使った入力作業や本を運んだり



クラブ・サークル活動



水球部が「関東学生水球リーグ」一部に昇格!

平成22年7月4日(日)、日本体育大学健志台キャンパス内プールで、「関東学生水球リーグ」二部リーグ1位の本学水球部が、一部リーグ8位の国際武道大学と入れ替え戦を行い、15対11で勝利し、一部リーグ昇格、そして18年連続インカレ出場を果たしました。

平成4年4月に結成された本学水球チームにとって、今回の昇格は、平成9年、11年、13年に続き4回目、10年ぶりのこととなります。

試合は序盤から一進一退の攻防が続き、第4ピリオドで1点差まで詰め寄られ、緊迫する場面もありましたが、その後、駄目押し3連続シュートが決まり、見事勝利をものにしました。



これまでは、いずれも一期のみで二部に陥落していましたが、水球日本代表でもある青柳監督の指導の下、これまで以上に一部リーグ定着と活躍への期待が高まっています。

また当日はスタンドに大勢の応援が駆けつけ、昇格が決定した瞬間は歓喜の渦に包まれていました。今後の水球部からは目が離せません!



水球部選手一覧(氏名・学部学年)	
高祖 裕介(経4)	
徳江 繁明(経4)	
仲村 泰信(経4)	
秋元 恵臣(経3)	
野一色健太(経3)	
屋富裕達郎(経3)	
金城 徹大(経2)	
斉藤 渉(経2)	
吉里 健龍(経2)	
鈴木 雄也(経1)	
清水 涼太(経1)	
柴原 吉輝(経1)	
三井田 誠(経1)	

アーチエリート部が北信越大会で優勝

本学アーチエリート部の宇佐美祐生君(経済学部3年)が、平成22年8月24日から開催された「北信越学生アーチエリート個人選手権大会(長野県飯綱町霊泉寺総合グラウンド)において見事優勝し、インカレに出場しました。

宇佐美君は「決勝で緊張せず集中できたので良い結果となりました。」と手応えを感じた様子でした。

宇佐美君は新潟県燕市の出身で、高校からアーチエリートを始め、インターハイや国体(少年男子の部)等に出場し、本学入学後も第63回(平成20年)国体新潟県代表(成年男子の部)に選ばれ北信越国体に出場するなど、競技の第一線で活躍しています。

来年在学生生活最後の一年となりますが、さらに高みを目指し4年間の集大成として、全国大会でのタイトルを期待しています。



空手道部が北信越大会で個人の部、上位入賞

平成22年5月9日(日)、富山大学で行われた第36回北信越学生空手道選手権大会において、男子組手の個人戦で、空手道部の梅川達矢君(経済学部2年)が3位、同じく小林匠君(経済学部2年)が5位に入賞し全国大会へ進みました。

3位に入賞した梅川君は「来年に向けて日々練習を重ね、さらに技をみがいて試合では悔いのないよう全力でぶつかっていききたい。」と力強く抱負を語ってくれました。

2人ともまだ2年生、名門復活に向けて今後がとても楽しみです。



郷土資料コーナーができました。

並べたりする力仕事など、小さな司書たちは丁寧に一生懸命お仕事をしてくれて、当館としても作業が大変はかどった一日となりました。

この体験を通して、本に携わる職業に興味を持っていただければと思います。中学生の皆さん、お疲れさまでした。

本学図書館は、柏崎・刈羽を中心に、新潟県内の郷土資料を収集していますが、この度、これを郷土資料コーナーとして別置きし、利用者に郷土資料の存在を更に深く知ってもらうことを考えました。

本学経済学部地域経済・地域文化を研究する学生からは、このコーナーの設置により以前より資料が探しやすくなったと好評です。

貴重な資料から柏崎市史、直江



一般の方も本学図書館をご利用いただけます。

学外の方も、ご自由に図書館をご利用いただけます。

- 館内での閲覧は基本的に自由です。
- 蔵書の貸出は次のとおりです。
- 対象
 - 15歳以上中学生以上の柏崎市内在住・在勤の方
 - 貸出冊数…3冊以内
 - 貸出期間…2週間以内
- その他/初めて利用される方は、住所・氏名を確認できるもの(免許証・健康保険証など)をご用意ください。また、本学主催の公開講座・聴講講座受講生の方にも貸出が可能です。

「ご不明の点は、お気軽に左記までお問い合わせください。」

0257-24-8435

E-Mail library@ada.nsu.ac.jp

専任教員の著書紹介

星野 三喜夫
(経済学部 教授)

「開かれた地域主義」とアジア太平洋の地域協力と地域統合

単行本：240p
出版社/パレード社
発売日/2010.6.1
分類番号 333.7ホ

「戦いをやめない人が勝利の人」



就職委員長 経済学部 教授
橋本 次郎

11月に入って衝撃的なニュースが伝えられてきました。10月1日現在の大学卒業予定者の就職内定率が平成15年の就職氷河期の60.3%をさらに下回り、57.6%であることが判明しました。これは過去最悪の状況であります。

平成20年のリーマンショック以降の景気不透明感に加えて、円高などの不安定要因が出てきたために、厳選採用の上に少数採用が加わったのが原因とみられています。特に地方の雇用状況は昨年より厳しかったのですが、本年はさらに厳しさを増しています。

その中において本学の昨年の就職状況は全国四年制大学と比べ就職希望率で13.4%も上回り、さらに就職率は92.3%と全国を0.5%上回るという健闘を見せました。しかしながら今年には昨年と比べて内定状況は厳しいのが現状です。

本学では通常の企業からの求人の紹介・企業説明会の連絡以外に、就職課が県内のハローワーク等から情報収集した大卒・新卒向けの企業説明会や求人情報を「就職ニュース」として夏期休暇前の6月1日から11月10日まで9回にわたって発行するなど、学生の就職活動を強力にサポートしています。

就職活動の基本は求人に関する情報を集めることから始まります。就職サイト、就職情報誌、ハローワーク、そして大学の就職課などからの情報収集が基本です。どんな業界がよいのか決めかねている人は、まず可能性

のある業界を列挙し、調べながら、行動しながら企業を絞ってください。

企業選びの基本は、客観的な「会社概要」などのデータと資料です。業績の動向や事業内容、採用予定数や代表者の考えをもとに、関心の持てる事業や職種があるかどうかを調べた上で企業をピックアップし、挑戦していくのです。

現在就職活動で苦戦中の4年生もいると思われれます。すでに就活が始まっている3年生もこれから大きな試験を経験するかもしれません。「もうダメだ」と思ったら、必ずダメになります。「私は勝つ！」と決めた人間が勝つと私は考えています。そのためにはどんな状況であろうとも、「戦いをやめない」ことが重要です。

「戦い続けた人が最後には勝つ」と自分に言い聞かせて頑張ってくださいと思います。

「ことば!!自己表現のワークショップ2010」

【平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)】

コミュニケーション講座の発表会を開催しました!!



「ことば!!自己表現のワークショップ2010」の発表会を10月16日(土)に行いました。これは、朗読を通して、就職活動や社会人に必要な自己表現力・コミュニケーション力を向上させ

るといふ本学独自の取り組みです。7月24日の第1回目の講座から開始し、講師の直接の指導は3日間でしたが、受講した学生たちは真剣に練習を重ね、本番を迎えました。

発表会後、学生達からは「とても緊張しましたが良い経験になりました。声を出すことや、自分のことを相手にどう伝えるかというコミュニケーションを学ぶのにも役立ちました。」「自分の良い所と悪い所が一度に分かったような気持ちになりました。」「人前で話すことに自信ができました。」等、感想が寄せられました。

指導監督にあたった堀井真吾先生(本学客員講師 声優・俳優)からは、「このワークショップで、相手の言葉を良く聞き、どういふ風に話したら相手に伝わるのかを感じて欲しい」と思っていました。緊張感を持って臨んだ今回の発表会が今まで練習した中で、一番良かったと思います。これをきっかけに可能性を広げていってください。」との講評をいただきました。

新潟産業大学の就職支援プログラム

1年次～

- 就職ガイダンス
- 春学期日常公務員講座
- 秋学期日常公務員講座
- TOEIC講座
- 夏期公務員特別講座&ガイダンス
- 春期公務員特別講座&ガイダンス
- 初級公務員模試(基礎3回・実践3回)
- 上級公務員試験(全5回)
- 授業科目「キャリアデザインI」(秋学期)

2年次～

- 授業科目「キャリアデザインII」(春学期)

3年次～

- 就職ガイダンス(4・5・9月)
- 模擬適正検査(4月)
- 就職試験対策講座(5・6・7・10月)
- ゼミ単位個人進路面談(6・11月)
- インターンシップ(夏季休暇中)
- 長期インターンシップ(不定期)
- 就職セミナー(全10回)
- 就職活動体験発表会(11月)
- 就職合宿研修会(1月)
- 学内合同企業説明会(2月)

4年次～

- 就職ガイダンス(4月)
- 個人面談・求人紹介(随時)



4年生の就職活動体験談

自信を持つ



えちご上越農業協同組合 内定
経済学部
国際コミュニケーションビジネス学科
菅山 真琴

3年生の12月から始まった就職活動。最初は何をどうしたらいいのかわからないまま、ただただプレッシャーを感じていました。大学が行うセミナーや就職合宿などに参加することで活動への取り組み方が分かるようになり、私は職種・業種にこだわらず広い分野を視野に入れ活動しました。合同説明会に積極的に参加し、企業の方針や企業

私の就職活動



神奈川県警察 合格
経済学部 経済経営学科
大山 剛史

私は3年生から公務員講座を受講していましたが、本格的に就職活動を始めたのは、

理念。そして今年度の採用情報を中心に情報を集めました。自分の中で志望する企業が決まると、HPをこまめにチェックし、その企業が開催するイベントに足を運び、「企業が求めているのはどのような人材か」を探して採用試験に挑みました。採用試験は学力試験、適性検査、集団討論、個人面接が行われ、セミナーなどで身につけた自分の力を全て出し切った結果、内定を頂くことができました。

100年に一度の就職氷河期と言われ続け、活動中は先がみえず、不安でいっぱいになりました。何度も立ち止まりそうになる度に大学の方々、家族、友人など周りの人達の優しさに後押しされ、前に進み続けることができました。私にとって「就職活動」とは、辛いこともたくさんありましたが、自分自身を見直し、周りの人々そして自分が生きている環境への感謝を感じることができた期間でした。

3年生の2月に行われた就職合宿研修会や学内合同企業説明会に参加してからです。

正直に言うと、私には大学2年生まで将来の夢・目標というものがありませんでした。そのため、こんな職業に就きたいという未来像も想像できませんでした。

そこで、今、自分にどんなことが出来るのかということから考え始めました。せっかく水球部に所属して、体力に自信があるのだから、これを役立たせることが出来ないだろうか?と考えました。そして、体を使って人々の役に立てる仕事に就きたいという気持ち

学びました。

この厳しい雇用情勢の中、公務員試験の倍率は、高いところで20倍にもなっていて、とても厳しい状況でした。

就職活動で一番大切なことは、目標を明確にすること、自己表現ではないかと思えます。

自分のことをよく知り、それをいかに面接官にアピールできるかが重要だと思います。それが、神奈川県警から内定をいただくことができた大きな要因だったと思います。

得意な事、今まで培ってきた経験や学んだ事など、考え得る限りの項目を作り、それらを全て埋めてみて下さい。そうすることで、あなたは今までおぼろげにしか見えていなかった自分というものが、よりハッキリと認識出来るようになると思います。

自己分析を終えたら、きつとあなたは自分がどんな職種に適性があるのかが見えてくるはずです。適性のありそうな職業について企業研究で見識を深めたら、その職業に就いて働いている自分を想像しましょう。どんな仕事をしたか、将来はどういった能力や技能を身に付けたいかをしっかりとイメージし、その過程で思った事を全てメモに取ります。

これらを全て終えた時、あなたは明確な目標を持ち、きちんとした自己主張の出来る人になっているはずです。これらは就職活動においてとても基本的な事ですが、その基本が出来ておらず、闇雲に突撃を繰り返して敗戦を重ねている学生がとても多いように感じます。まずはやるべき事をしっかりと見据え、一刻千金の思いで活動に励みましょう。

彼を知り、己を知れば、百戦危うからず



郵便局株式会社 内定
経済学部
国際コミュニケーションビジネス学科
堀田 豊彰

に辿り着き、警察官・消防士・自衛官などの公務員を志望しました。筆記試験対策は、長時間行ったわけではなく、市販の問題集などを1日に30分程度勉強してました。面接試験対策は、就職合宿研修会でアドバイスされたことや、就職課に行き、先輩方の資料などを見て、質問されそうな事項を書き出し、自分なりにまとめました。また、堀井真吾先生の「ことば」のワークショップにも参加し、自己表現のしかたを

就職活動は、ライバル達と苛烈な競争を強いられる戦場であり、限られた時間の中で最良の結果を追い求めなければなりません。私は自他共に認める効率主義者ですので、本稿では私が特に皆様にお伝えしたいことをかいつまんでお話し致します。

就職活動の中でも特に重要なのは自己分析と明確な将来像の構想です。企業の人事担当者は、あなたが他の学生と比べてどんな違いがあるかを見極めようとしているので、あなたらしさを伝えることが出来なければ、文字通りお話になりません。自分の好きな事や

Back to School (生涯学習センター)

ご挨拶



生涯学習センター長
経済学部 教授
片岡 直樹

新潟産業大学 生涯学習センターでは、大学の授業を一般向けに開講する「聴講講座」、お仕事帰りや土曜日に街中で受講できる「公開講座」、

入場無料の「公開講演会」を開催しているほか、柏崎市が主催する「かわざき市民大学」への講師派遣の協力も積極的に行なっております。地域のみならず本学の専任教員による専門性に富んだ多彩な内容の講座を多数用意しておりますので、是非ご高配を賜りますようお願い申し上げます。多くの方々のお越しを教職員一同お待ちしております。

公開講座

平成22年度は、柏崎市民プラザにて「TOEIC試験リスニング対策講座」に楽しい中国語10回講座「など春期4講座、秋期6講座を開講し、延べ65名の申込みがありました。上越地区においては上越市民プラザで「日本女性のあゆみ」を開講、7名の参加がありました。



市民大学講座

前期の3講座「コシヤネルの世界」「日本美術史講座」「異文化から学ぶ」に延べ108名、後期4講座のうち本学教員担当の2講座「文学の新しい読み方」「近現代のイギリス小説を中心に」に「パスポートの魅力」に延べ41名の申込みがありました。



地球くらぶ

8月初旬の猛暑の中、剣野小と新道小の各児童クラブを訪問して小学生に外国の文化や言語、食べものなどを楽しく紹介するイベントを実施しました。今年度は、学生自身が作成したパワーポイントによるそれぞれの国の文化紹介や3カ国のお茶とお菓子の試食、各国の伝統的なゲームを体験してもらいました。



公開講演会

●羽賀 友信さん
(長岡市国際交流センター長)
新入生を対象に「今、社会が求める人材について」ご講演いただきました。学ぶことの意義を問い直し、国際社会に視野を広げる良い機会となりました。(平成22年4月5日)

●西川 孝純さん
(共同通信社論説委員)

参議院選挙が近く学生の選挙への関心を高めるねらいもあり、「政治と人々の健康との関わり」や「日本やアメリカの保険医療制度の違いや問題点」、各政党の健康に関する政策などについて解説していただきました。(平成22年6月8日)



●佐藤 啓介さん
(株式会社やき亭創業社長)

学生の就職活動支援の一環として、本学OBで、現在「活躍中の経済人の体験談」つかいがいしました。現場の生のお話は迫力と説得力があり、たいへん有益でした。(平成22年6月25日)

聴講講座

本年度春期は、31講座中21講座に66名(延べ83名)、秋期は、27講座中19講座に43名(延べ55名)申込みがありました。柏崎市外からも春期19名、秋期10名と多くの方に受講していただきました。

☆聴講生トップ3 ビジネス・モデル・デザイン(寄付講座)25名/韓国事情(連池 蕙)12名/コミュニケーション(連池 蕙)7名

聴講講座・公開講座のご案内

新潟産業大学では、一般社会人を対象とした各種講座を開講しています。

■ 聴講講座

本学で開講している講義から興味のあるものを1科目単位で選び、学生達と席を並べ聴講していただく講座です。性別・年齢・学歴等に関係なく、なたでも受講できます。

一つの科目につき、基本的に週1回同一の曜日(時限90分)で15週にわたり開講しています。(単位認定は行いません。)(春学期・通年開講科目は現在受付中(2月28日(日)締切)、秋学期開講科目は5月2日(月)から受付です。)

■ 公開講座

本学専任教員が専門分野に基づいたテーマで開講する教養講座です。

一つの講座は2回〜5回で構成され、お仕事が終わってから受講できる夜間や土曜日に開講しています。講座により募集・開講時期が異なります。各種講座の詳細・最新情報は、本学ウェブサイト http://www.nsu.ac.jp/nsu_j/llc/index.html にアクセスしてください。

または生涯学習センター(☎0257-24-8436)まで

お気軽にお問い合わせください。

出張講義のご案内

新潟産業大学では、本学教員が高等学校等に出向いて講義を行う「出張講義」に積極的に対応しております。大学の専門分野を高校生向けに分かりやすく講義することにより、大学の「学び」を感じ取っていただくことができます。

大学進学を意識づけとして、また進路選択の一環として、幅広く活用ください。出張講義のお申し込み・お問い合わせは ☎0120-787-124(入試課直通)からお気軽にご連絡ください。

Web上で本学のシラバスの検索と閲覧が可能

本学ではWeb上で開講科目のシラバスを公開しています。シラバスは、授業科目の概要であり、15週にわたって開講される授業の各回の内容が予め示され、そこには到達目標や参考文献・評価方法等も明示されています。

大学ではこれに沿って授業を進める事により、学生たちが学習の流れを理解したり、指導

する教員がスムーズに学生を到達目標に導くことができるようになっています。

これを利用することにより、今年度本学で開講している授業科目について、学外から、学部・学科・科目担当者・科目名・講義内容などの検索が可能です。

本学への入学を希望する高校生や、聴講講座の受講を検討されている市民の皆様もお気軽にご利用ください。Webシラバス閲覧システムへは左記のリンクからアクセスできます。
<http://www.nsu.ac.jp/>

新潟産業大学 教育研究支援金のお申し込み

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。いただきましたご寄付は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学の教育理念の達成のために活用させていただきます。

何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。
(お申し込み) 新潟産業大学 総務課 ☎0257-24-6055
Mail:soumuu@ada.nsu.ac.jp

ふるさと自慢作文コンテスト

昨年度に引き続き2回目の開催となりますが、応募総数682点(小学生262名(16校)、中学生316名(8校)、高校生104名(2校))と、多数の作品が集まりました。鶴川の四季や水の大切さ、おいしいお米、地域の人のあたたかさ、豊峰山、いつも変わらない海、刈羽や高柳、北条の自慢など、どの作品も独自の視点で感性あふれる作品でした。ご協力いただいた生徒さんをはじめ、先生方ならびに保護者のみなさまに御礼申し上げます。

平成23年度 新潟産業大学 生涯学習センター「友の会」入会のご案内

本学生涯学習センター「友の会」は、平成13年度に発足してから今年で10年目を迎えます。今年度の会員数は、38名となりました。

1. 受講料の割引…本学主催の各講座が20%の割引となります。
2. 講座の先行受付 などです。
3. 会報等資料送付 などです。
4. 申込方法
5. 所定の申込書にご記入の上、郵送 FAX・Eメールまたは大学窓口にてお申し込み下さい。
6. 2. 年会費(一般会員)は、2,000円です。
7. 3. 新規会員の方には、会員カードをお渡しいたします。
8. 4. 入会期間は、平成23年4月1日〜平成24年3月31日の1年間となります。

詳細につきましては、
http://www.nsu.ac.jp/nsu_j/llc/tomonokai/info.html
をご覧ください。

新潟産業大学 生涯学習センター
☎0257-24-8441
☎0257-24-8441
E-mail: llc@ada.nsu.ac.jp

